屋久島発
うみがめのなみだ その生態と環境

大牟田一美・熊澤英俊

もくじ

はじめに

カメという生き物
- カメの進化
- 現生のカメ
- 甲羅
- 防御の方法
- 肢の形状
- 首の収納

海での生活を選択したウミガメ
- ウミガメのからだ

ウミガメの仲間たち
- アカウミガメ
- アオウミガメ
- タイマイ
- ヒメウミガメ
- ケンプヒメウミガメ
- ヒラタウミガメ
- クロウミガメ
- オサガメ

ウミガメの生態
- 捕食者、食べ物
- 成長・寿命、付着生物
- 交尾
- 遠い海から日本を目指して
  - 日本の主な産卵地
- 産卵行動
- ウミガメの卵
- 胚の発生
- 子ガメについて
  - 雌雄の決定
  - 子ガメの孵化・脱出
- 旅立ち
- 子ガメの試練

ウミガメの惨状
- 砂浜の変化
- 護岸
- 浜の障害物
- 海中の危険
- 混獲
- フィブロパピロマ
- 漂流物
- 人工の光

人間とウミガメ

生態調査
- 標識(タグ)調査
- PITタグ
- 甲長・甲幅測定
- 体重測定
- 足跡調査
- 孵化調査
- 子ガメの追跡
- 卵の移植
- ヘッドスターティング
- 産卵後の回遊調査

鹿児島県屋久島
- 屋久島永田浜
- 鹿児島県屋久島のウミガメの現状
- 屋久島うみがめ館

関連団体リスト

ウミガメの保護に関する法律

やめよう! 昼間の放流会

ウミガメ用語辞典

ウミガメ観察の注意点

2億年を超える長い進化の道のりを歩んできたウミガメ。

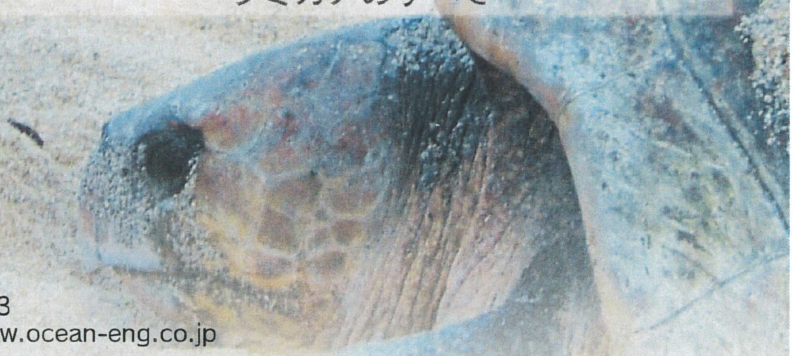
産卵する“ウミガメが流す涙”は、実は“涙”ではなく、陸から海での生活を選択したウミガメが、目から餌とともに体内に取り入れた余分な塩分を出しているのです。

今、ウミガメをとりまく環境は、自然海岸や砂浜の減少、砂浜を覆う大量のゴミなどにより悪化の一途を辿っています。

1985年、帰島した島の若者たちが、失われ行く故郷の浜を守ろうと、ウミガメ保護を始めて26年。4月から8月までのウミガメ上陸シーズンに、全国からのボランティアたちと、夜ごと夜ごと積み重ねてきた生態調査結果は、今や世界的に貴重なデータとなり、ウミガメの保護・研究に寄与しています。

ウミガメを守ることは、その環境や他の生き物たちも守ること。この地球上の全ての生き物への愛を込めて、屋久島から発信する

“ウミガメのすべて”



定価:本体1,200円＋税

B6変形版並製 116ページ(オールカラー)

株式会社海洋工学研究所出版部 発行

〒169-0075　東京都新宿区高田馬場1-28-3 工新ビル503

TEL:03-3207-7727　FAX:03-3207-7771　http://www.ocean-eng.co.jp

NPO法人屋久島うみがめ館　〒891-4201 鹿児島県熊毛郡屋久島町永田 489-8

TEL&FAX　0997-49-6550　http:umigame-kan.org

【注文先】海洋工学研究所出版部または屋久島うみがめ館

注文書『屋久島発 うみがめのなみだ その生態と環境』		
住　所:		
氏　名:		
注文数:	Tel:	e-mail:

※書店へのご注文の際は、下記注文署をご利用ください。

注文カード

貴店名

年　月　日

部数	書名	発行所	著者	定価
部	屋久島発 うみがめのなみだ その生態と環境	海洋工学研究所出版部	大牟田一美・熊澤英俊	1,260円(税5%)(本体1,200円)

ISBN978-4-906549-06-1

C0036　¥1200E

9784906549061

取次：　全官報扱い